

魔術師 Gazel (ガゼル)

Spell Inquirer

-Elder Necromancer-

職人工房の自室で魔法修行中。
おかげでだいぶ打たれ強くなった。

主に戦士系の能力を身に付けた 侍 Gazel の対極として、魔法使い系の能力を身に付けることに特化した姿。魔法の呪文書は一通り完成させて、現在は地道な「抵抗」の修行中。

服装は 侍 Gazel と同様、濃紺の male kimono と羽根帽子。羽織っているのは赤い arcane cloak。手に持っているのは『武刀の天地』で手に入れた「Sword of Prosperity」で、沼地のトカゲやワニ程度なら魔法を使わずに倒せる。

当初は、summon daemon によって呼ばれる悪魔を連れ歩くのに必要なコントロールスロットが5であったことから、徒歩で移動していた。現在は4になり騎乗生物との相乗りも可能になったので、昔からの相棒である ridgeback の Tempestos(テンペストス) に再び乗っている。他に所持するペットは、カブトムシ (giant beetle) の Fauces(ファウセス)。

「霊媒」「霊話」「魔法」Elder、「評価」「瞑想」「織成呪文」GM。魔法を使う技を日々修行中。呪文書を全て完成させた後は、60 で止まっていた「耐性」を Clouse に触発されて、再び上げ始め、これもようやく GM に達した。

メインはネクロマンシィで、Wither と Energy Bolt が主武器、常に Vampire 化した状態。plague beast となら魔法と飛び道具 (毒液) の打ち合いで勝てるぐらいにはなった。もっとも魔法を使うモンスターにいきなり焼き殺されたり、プラスカルマのモンスターに じゃれつかれて転がされたりと、実は臨死体験の回数が多かったりする。

Vampire になっていると、ニンクに弱くなってしまうのだが、これにより「Greater Heal」「Paralyze」「Protection」といった、割とメイジが良く使う魔法でダメージを受ける体になってしまった。意外に大きなダメージを受けるので曲者だ。同様に弱体化してしまう炎抵抗は「耐性」の抵抗値保証によって大きくフォローされるのがありがたい。

やがて現れるであろうガーゴイルたちの魔法の技を学ぶにはもうスキルの余裕は無い。切るとしたら「瞑想」か「耐性」のどちらかだ。どちらも彼にとっては捨てがたいだけに、これは悩ましいが「全ての魔法を修める」という自身の命題のためには、どちらかを捨てることを選ぶのだろう。

元々は「魔法工房サテライト」という以前の店の店長だった。だが、店が引っ越したため店長の座は テイマー Gazel に譲り、自身は魔法修行に専念するようになった。『宝珠の守人』以前は「解剖学」も GM 近くになっており、魔道武器 -0 の武器で普通に戦っていた。『宝珠の守人』導入時「織成魔法」を習得するために、色々と苦勞してしまったのは忘れられないことだろう。

<u>TOSのPC~(戦士系1)</u>	<u>TOSのPC~(戦士系2)</u>	<u>TOSのPC~(魔術師系)</u>	<u>TOSのPC~(使役系)</u>	<u>TOSのPC~(非戦闘系)</u>	ふるーのPC
<u>Andrew~Velzette</u>	<u>侍</u> <u>Rosally~Azel</u> <u>Gazel~Kurogane~O</u>	<u>魔術師</u> <u>Glazel~Clouse</u>	<u>テイマー</u> <u>Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Ri</u>	<u>Melody~Mami</u>

(工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック)
